

グループにおける新商品開発・販路拡大支援

住所	仙台市宮城野区蒲生2丁目2-20 太陽工業(株)仙台支店内(事務局)	資本金	-
代表者	阿部 秀夫(株式会社秀建築デザイン)	従業員数	-
創業年	平成24年	売上高	-
業種	グループ補助金申請グループ		
TEL	022-259-8305	URL	-

事業概要

- ・同地域は工場や、事務所が立ち並ぶ工業地域であり、本グループは同地区にて被災した事業者の集まりである。
- ・同グループは事業内容が異なる業種の集まりであり、ホログラム印刷技術が得意な「大阪印刷インキ製造(株)」、環境を意識したデザイン企画を行う(株)秀建築デザイン、強化ガラスの製造が得意である(有)鈴木硝子店、業務用ウエス等の製造事業者の(株)ハシモト、印刷用ゴムローラの製造を行う(株)加貫ローラ製作所、ソーラー製品・LEDの販売・設置が得意な太陽工業(株)の6社にて構成されている。

被災概要

- ・蒲生地域に約5～6 mの高さの津波が押し寄せ、多くの工場、事務所が全壊。
- ・工場敷地内に瓦礫が散乱し、営業が不可能な状態に陥る。



破壊された蒲生地区の様子



被災した大阪印刷インキ製造(株)の社屋

復興に向けた状況や課題

- ・大阪印刷インキ製造(株)を中心に、蒲生地区の被災企業6社にてグループ補助金を申請し、採択を受けた。
- ・6社合同の打合せ会を月1回定期的に実施し、共同事業の取り組み等についての話し合いがされている。
- ・共同事業の一環として、6社の技術、ノウハウを合わせたホログラム街路灯「復興の灯り」の共同製作を行うことが決定。
- ・上記「復興の灯り」の製作において、デザイン面、コスト面、販路の開拓が課題となっている。



支援テーマと内容

1. 販路開拓支援
 - ・具体的な販売ターゲットの洗い出し及び受注に向けての情報収集のサポート。
 - ・中小機構にて行っているジェグテック、販路開拓支援制度の紹介および、宮城県随意契約制度等の公的支援策の紹介。
2. 営業ノウハウの講習会実施
 - ・施主、ゼネコン等への営業の必要性及び具体的な営業方法についての講習会の実施。
3. 新しい東北ビジネスコンテストの出場サポート支援
 - ・ビジネスコンテストの1次審査時の申請書の作成支援、2次審査におけるプレゼンテーション資料の作成支援。
4. 法人化に向けてのアドバイス
 - ・任意グループであった6社の団体を法人化するにあたり、法人化についての手続き、各種法人についてのメリット、デメリットのアドバイスの実施。

復興の灯リイメージ



モニュメント(街灯型)A

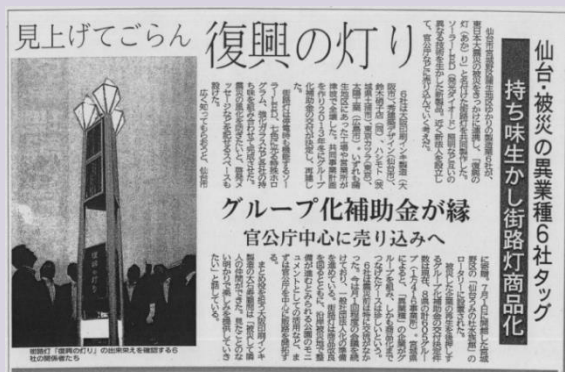


モニュメント(街灯型)B



ソーラーLED
アプローチライト

仙台うみの杜水族館に寄贈した「復興の灯リ」
が地元新聞記事に掲載！



支援の成果

1. 毎月の定期打合せ会に参加し、モニュメント(街灯型)A、B案の策定についてのアドバイスを実施。
→結果上記写真の様な案がまとまる。
2. 具体的な営業先の抽出を行い、アクションプランの策定支援を実施した結果、「復興の灯リ」を仙台のシンボリック施設である「仙台うみの杜水族館」に寄贈する事となった。
3. 復興の灯リを販売するに当たっての組織形態についてメリット、デメリット等についてのアドバイスをを行った結果、「一般社団法人S.G.S復興グループ」としてH27年10月に発足。
4. 新しい東北ビジネスコンテストに出場し、中小機構の支援の元、1次選考を突破。2次審査の際のプレゼンテーション資料の作成支援を実施。合わせてPRポイントをアドバイス。

今後の事業展開

1. 仙台蒲生地区の公園整備事業をターゲットに置き、公園内にモニュメント、ソーラーアプローチライトの納入を目指す。
2. 仙台うみの杜水族館への寄贈を皮切りに、他地区における沿岸部の公園整備事業についても積極的な営業展開を図る。
3. グループ構成員の各企業の持つ全国規模のネットワークを活かし、モニュメントやアプローチライトの販売について全国展開を行っていく。
4. 全国展開により、「メイドイン蒲生」を全国的に認知させる事を目指す。

事業者からのコメント

蒲生地区の異業種6社が集まり、グループ補助金の採択を受けました。お陰様で全社、無事に施設・設備の復旧を終える事が出来ました。

現在、蒲生地区の再生を図るべく、6社の力を合わせ、新商品(ホログラム街路灯)の開発に成功し、販売を行っております。機構の震災復興支援アドバイザーには、毎月のグループ会議において営業セミナーといった主に販路を中心としたアドバイスをいただいております。

まずは、蒲生地区へのホログラム街路灯の導入を目標にして頑張っていきたいと思っております。



一般社団法人SGS復興グループ

震災復興支援アドバイザーからのコメント

同グループは蒲生地区に事業所を構える6社にてグループ補助金を取得し、その後、共同事業についての打ち合わせ会を月1回定期的に行っています。

「復興の灯リ」の販売という明確な目標のもと、グループが一丸となり、チームワーク良く共同事業に取り組んでいる姿は、他のグループ補助金申請グループの模範となるものと思われまます。

試行錯誤を重ねた末、仙台うみの杜水族館に「復興の灯リ」の第1号機の設置が実現し、全国展開に向けての第一歩をふみだされました。

「復興の灯リ」が蒲生地域に灯り、その灯りが全国に広がっていくのを見届けるまで継続的にご支援させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



震災復興支援アドバイザー
中小企業診断士
社会保険労務士
横尾 徳仁